

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 FCM株式会社

コード番号 5758 URL <http://www.fc-m.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 市居 律雄

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 丸山 仁

TEL 06-6975-1324

四半期報告書提出予定日 平成25年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,580	9.0	33	—	49	931.0	18	—
25年3月期第2四半期	7,871	△20.2	△21	—	4	△93.3	△32	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.68	—
25年3月期第2四半期	△18.79	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	8,483	—	3,215	—	37.9	—	1,887.00	
25年3月期	9,277	—	3,193	—	34.4	—	1,874.32	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,215百万円 25年3月期 3,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	0.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	8.1	204	—	200	—	129	—	75.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	1,704,267 株	25年3月期	1,704,267 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	348 株	25年3月期	348 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,703,919 株	25年3月期2Q	1,703,967 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、売上高8,580,433千円（対前年同期比9.0%増）、営業利益33,546千円（前年同四半期は営業損失21,401千円）、経常利益49,780千円（対前年同期比931.0%増）、四半期純利益18,191千円（前年同四半期は四半期純損失32,011千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

(電子機能材事業)

電子機器や電子部品に使用されている材料・部品の表面処理加工を主とする電子機能材事業では、売上高は2,420,123千円（対前年同期比3.6%増）となりました。パワーエレクトロニクス関連や自動車部品向けでは緩やかながらも受注回復の兆しが見えてきましたが、これまで市場を牽引してきたスマートフォンやタブレット端末関連では厳しい事業環境が続いています。一方で、産業機器向けの新規案件獲得や原価低減への取組みも効果が出つつあり、結果としてセグメント利益は27,289千円（前年同四半期はセグメント損失10,673千円）となりました。

(電気機能線材事業)

電線・配線用ケーブル・通信用ケーブルなどの伸線加工を主とする電気機能線材事業では、国内の銅建値が上昇気味に推移したことに加え太陽光発電関連での受注増加もあり、売上高は6,160,310千円（対前年同期比11.3%増）となりました。建設・電販や通信向けは回復のテンポも遅く異型線関連も伸び悩むなか、引き続き原価低減と経費削減に努め、セグメント利益は22,491千円（対前年同期比45.1%増）となりました。

売上高

単位（千円）

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	2,335,758	29.7%	2,420,123	28.2%	3.6%
電気機能線材事業	5,535,916	70.3%	6,160,310	71.8%	11.3%
合計	7,871,675	100.0%	8,580,433	100.0%	9.0%

加工売上高

単位（千円）

	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
電子機能材事業	1,042,782	71.8%	1,141,390	72.5%	9.5%
電気機能線材事業	410,378	28.2%	432,020	27.5%	5.3%
合計	1,453,160	100.0%	1,573,410	100.0%	8.3%

（注）当社では売上高から主要な材料費等を控除した金額を「加工売上高」と称し、経営指標として用いています。

(2) 財政状態に関する説明

(貸借対照表の状況)

総資産は8,483,227千円となり、前事業年度末に比べ794,659千円減少しました。これは、現金及び預金が819,853千円、有形固定資産が156,228千円減少したことと、受取手形及び売掛金が150,734千円増加したことなどによるものです。

負債合計は5,267,938千円となり、前事業年度末に比べ816,250千円減少しました。これは、主として買掛金781,282千円が減少したことなどによるものです。

純資産は3,215,288千円となり、前事業年度末に比べ21,591千円増加しました。これは当第2四半期累計期間の四半期純利益等を反映したものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて819,853千円減少し、107,282千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、756,585千円の支出（前年同四半期累計期間は233,058千円の収入）となりました。主な収入は税引前四半期純利益46,401千円、減価償却費216,401千円であり、主な支出は仕入債務の減少781,282千円、売上債権の増加150,734千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出104,258千円や有形固定資産の売却による収入30,000千円などにより75,995千円の支出（前年同四半期累計期間は115,549千円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増額250,000千円の収入や長期借入金の返済による支出224,960千円などにより12,727千円の収入（前年同四半期累計期間は294,224千円の支出）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内においては政府の経済施策により株価が回復し円高傾向が是正されるなど一部に景気回復の効果は出ていますが、世界的には中国の経済成長が鈍化するなど厳しい事業環境が続くものと予想されます。このような中、当社においては各種施策の取り組みと実行を通じて業績回復に努めてまいります。なお、既に公表している業績予想について変更はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,135	107,282
受取手形及び売掛金	3,861,463	4,012,197
仕掛品	250,868	283,318
原材料及び貯蔵品	273,573	269,780
繰延税金資産	64,470	43,233
その他	23,427	42,288
貸倒引当金	△6,508	△6,746
流動資産合計	5,394,429	4,751,353
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	868,265	827,652
機械及び装置（純額）	766,097	716,232
土地	1,863,981	1,863,981
建設仮勘定	74,811	15,478
その他（純額）	110,990	104,572
有形固定資産合計	3,684,146	3,527,917
無形固定資産		
投資その他の資産	10,818	10,341
投資有価証券	21,218	27,095
繰延税金資産	157,772	156,919
その他	29,963	29,957
貸倒引当金	△20,462	△20,357
投資その他の資産合計	188,491	193,615
固定資産合計	3,883,456	3,731,873
資産合計	9,277,886	8,483,227

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,214,200	2,432,918
短期借入金	—	250,000
1年内返済予定の長期借入金	379,920	297,920
未払法人税等	7,327	12,294
その他	339,140	249,989
流動負債合計	3,940,589	3,243,121
固定負債		
長期借入金	1,724,408	1,581,448
退職給付引当金	360,401	366,973
役員退職慰労引当金	58,790	—
その他	—	76,395
固定負債合計	2,143,599	2,024,816
負債合計	6,084,188	5,267,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	687,749	687,749
資本剰余金	826,871	826,871
利益剰余金	1,682,603	1,700,794
自己株式	△820	△820
株主資本合計	3,196,403	3,214,594
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,705	694
評価・換算差額等合計	△2,705	694
純資産合計	3,193,697	3,215,288
負債純資産合計	9,277,886	8,483,227

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,871,675	8,580,433
売上原価	7,262,154	7,925,432
売上総利益	609,521	655,001
販売費及び一般管理費	630,922	621,454
営業利益又は営業損失(△)	△21,401	33,546
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	470	373
助成金収入	27,252	7,554
スクラップ売却益	6,282	12,429
その他	2,597	4,779
営業外収益合計	36,608	25,137
営業外費用		
支払利息	8,261	6,255
売上割引	2,116	1,788
その他	—	859
営業外費用合計	10,378	8,903
経常利益	4,828	49,780
特別利益		
固定資産売却益	832	—
特別利益合計	832	—
特別損失		
固定資産売却損	4,187	—
固定資産除却損	12,670	3,379
減損損失	27,551	—
特別損失合計	44,409	3,379
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△38,747	46,401
法人税、住民税及び事業税	3,703	7,991
法人税等調整額	△10,439	20,218
法人税等合計	△6,736	28,209
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△32,011	18,191

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△38,747	46,401
減価償却費	232,873	216,401
減損損失	27,551	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△47,115	△58,790
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,269	6,572
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△519	132
受取利息及び受取配当金	△474	△374
支払利息	8,261	6,255
有形固定資産売却損益 (△は益)	3,354	—
固定資産除却損	12,670	3,379
売上債権の増減額 (△は増加)	304,371	△150,734
たな卸資産の増減額 (△は増加)	26,702	△28,655
仕入債務の増減額 (△は減少)	△227,643	△781,282
その他	△6,803	△6,015
小計	309,749	△746,709
利息及び配当金の受取額	474	374
利息の支払額	△8,246	△6,551
法人税等の支払額	△68,918	△3,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	233,058	△756,585
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△623	△606
有形固定資産の取得による支出	△136,570	△104,258
有形固定資産の売却による収入	19,401	30,000
無形固定資産の取得による支出	—	△460
その他	2,243	△670
投資活動によるキャッシュ・フロー	△115,549	△75,995
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△164,968	△224,960
長期未払金の返済による支出	△4,058	△4,058
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,129	△8,129
自己株式の取得による支出	△70	—
配当金の支払額	△16,999	△124
財務活動によるキャッシュ・フロー	△294,224	12,727
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△176,715	△819,853
現金及び現金同等物の期首残高	844,648	927,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	667,932	107,282

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,335,758	5,535,916	7,871,675
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,335,758	5,535,916	7,871,675
セグメント利益又は損失(△)	△10,673	15,502	4,828

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益又は損失(△)には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告セグメントに計上又は配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失は27,551千円であります。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	電子機能材事業 (千円)	電気機能線材事業 (千円)	合計 (千円)
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	2,420,123	6,160,310	8,580,433
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,420,123	6,160,310	8,580,433
セグメント利益	27,289	22,491	49,780

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の経常利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配賦基準によって各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。なお、財務収益費用についても全社的に管理されておりますが、金額的影響が軽微であるため各報告セグメントに配賦しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。